

5 花き

1) き く

(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法	備 考
うどんこ病	植付前 生育中	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 施設栽培では特に通風をよくする。	
褐 斑 病	植付前 植付時 生育中	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 密植を避ける。 ○ 病葉は早めに摘み取る。 ○ 摘心直後の降雨は発生を早める。	○ダコニール1000は花卉に薬剤が付着すると漂白退色などによる斑点を生ずる場合があるので着色期以降の散布は避ける。
菌 核 病	生育中	○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	
黒 さ び 病	植付前 植付時 生育中	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 無病苗を植付ける。 ○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ ハウス内の換気を図り多湿を避ける。 ○ 露地では、降雨の多い場合雨よけをする。 ○ 病葉は早めに摘み取り、適切に処分する。	
黒 斑 病	植付時 生育中	○ 密植を避ける。 ○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 罹病葉は早めに摘み取る。 ○ 摘心直後の降雨は発生を早める。	○ダコニール1000は花卉に薬剤が付着すると漂白退色などによる斑点を生ずる場合があるので着色期以降の散布は避ける。 ○ストロビーフロアブル使用時には浸透性を高める展着剤の使用は避ける。
立 枯 病	植付前 生育中	○ 土壌消毒を行う(「土壌消毒」の項 参照)。 ○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	
花 腐 病	生育中	○ 発病株は見つけ次第取り除き、適切に処分する。	
半身萎凋病	植付前	○ 連作を避ける。 ○ 土壌消毒を行う(「土壌消毒」の項 参照)。 ○ 発病株から挿穂や冬至芽を取らない。 ○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	
白 さ び 病	植付前 植付時	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 無病苗を植付ける。 ○ ハウス内の換気を図り多湿を避ける。 ○ 露地では降雨の多い場合雨よけをする。 ○ 罹病葉は早めに摘み取り、適切に処分する。	○サプロール乳剤は、品種によって薬害が生じる場合があるので注意する。クムラスは高温時には使用しない。 ○コロナフロアブルは収穫間近の散布は避ける(葉の汚れ)。 ○チルト乳剤25は野菜(とくに幼苗期)にかかると、生育抑制や縮葉などの薬害を生じるおそれがあるので周辺に栽培されている野菜へは飛散しないよう十分注意する。 ○メジャーフロアブルは、着蕾期以降に使用すると薬害を生じるおそれがあるので使用しない。